

縄文時代の丸木舟 たかやがわていち 横芝光町 高谷川低地遺跡 見学会

平成31年2月2日(土) 午前11時～午後2時
(小雨決行 荒天の場合は翌日に順延)



主催：公益財団法人千葉県教育振興財団 後援：千葉県教育委員会・横芝光町教育委員会
協力：東日本高速道路株式会社・国土交通省関東地方整備局千葉国道工事事務所

周辺から出土した丸木舟が見られる場所

● 多古町コミュニティプラザ
1階ロビー
千葉県香取郡多古町多古 2855
☎ 0479-76-7811
栗山川流域遺跡群出土丸木舟
全長 7.45m 最大級の丸木舟、ムクノキ材

● 匝瑳市立八日市場図書館
建物裏のプール内
千葉県匝瑳市八日市場イ 2402
栗山川流域遺跡群出土丸木舟
数艘の舟が水につかっています

● 匝瑳市民ふれあいセンター
1階ロビー
千葉県匝瑳市八日市場ハ 793-35
☎ 0479-73-0753
栗山川流域遺跡群出土丸木舟
(県指定有形文化財)

● 公益財団法人 印旛郡市文化財センター
展示室
千葉県佐倉市春路 1-1-4
☎ 043-484-0126
多古田低地遺跡出土丸木舟など



多古町コミュニティプラザの丸木舟

本日は、高谷川低地遺跡の見学会にお越しいただき、ありがとうございます。

この遺跡は、圏央道の大栄～横芝区間の建設に伴い、平成27年度から断続的に調査を続けてきた遺跡です。

今回の調査区では水田の下に縄文時代に堆積していた泥炭層があり、その中から縄文土器や木製品のほか、貴重な丸木舟が出土しました。

今日、皆様にご覧いただくのは、掘り出されたばかりの丸木舟です。短い時間ではありますが、どうぞゆっくりご見学ください。



高谷川低地遺跡はどんな遺跡なの？

高谷川低地遺跡は、栗山川流域遺跡群の一つで、栗山川の支流である高谷川の両岸に広がる水田下の遺跡です。低地遺跡とは、谷底や海岸近くの標高の低い場所にある遺跡のことをさします。千葉県の低地遺跡のほとんどは、泥炭と呼ばれる植物の厚い堆積土がみられます。

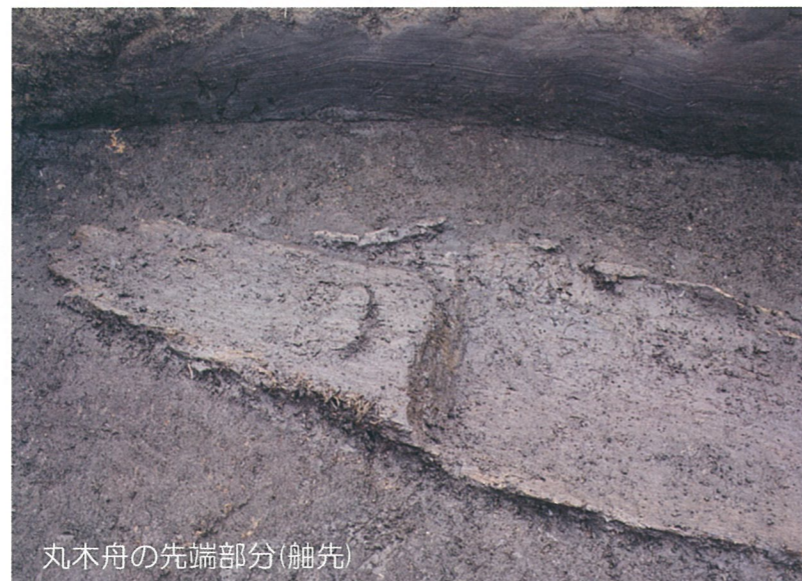
丸木舟は、昨年度の調査でその一部が発見されたもので、もう一か所で土器や木器などがまとまって出土する地点が発見されたことから、2か所の本調査を去年の12月から同時に進めています。

平成27年度から開始されたこれまでの調査では、縄文時代の泥炭層が高谷川流域に広く堆積していることがわかり、縄文時代後期中頃から晩期までの土器などが出土しています。



縄文時代の丸木舟が出た！

平成29年度の調査で発見された丸木舟は、田んぼの土を重機で除去したところ、耕作土の直下から発見されました。さらに周囲を広げてみると舟の舳先とみられる尖った部分と、船体が現れ、丸木舟であることがわかりました。船体は、幅約60cm・厚みは舟の縁で1cmほどです。調査が進むなかで舳先の反対側も同様に発見されるだろうと期待されましたが、破損して失われていることがわかりました。先端部には、丸い突起状の作り出しがあり、ユニークな装飾が施されています。側面両側の立ち上がり



丸木舟の先端部分(舳先)

は約15cmの高さまで観察できます。残っている丸木舟全体の長さは約6.3mあることから、反対側の艫も残っていれば7m近くの大きさだったかもしれません。

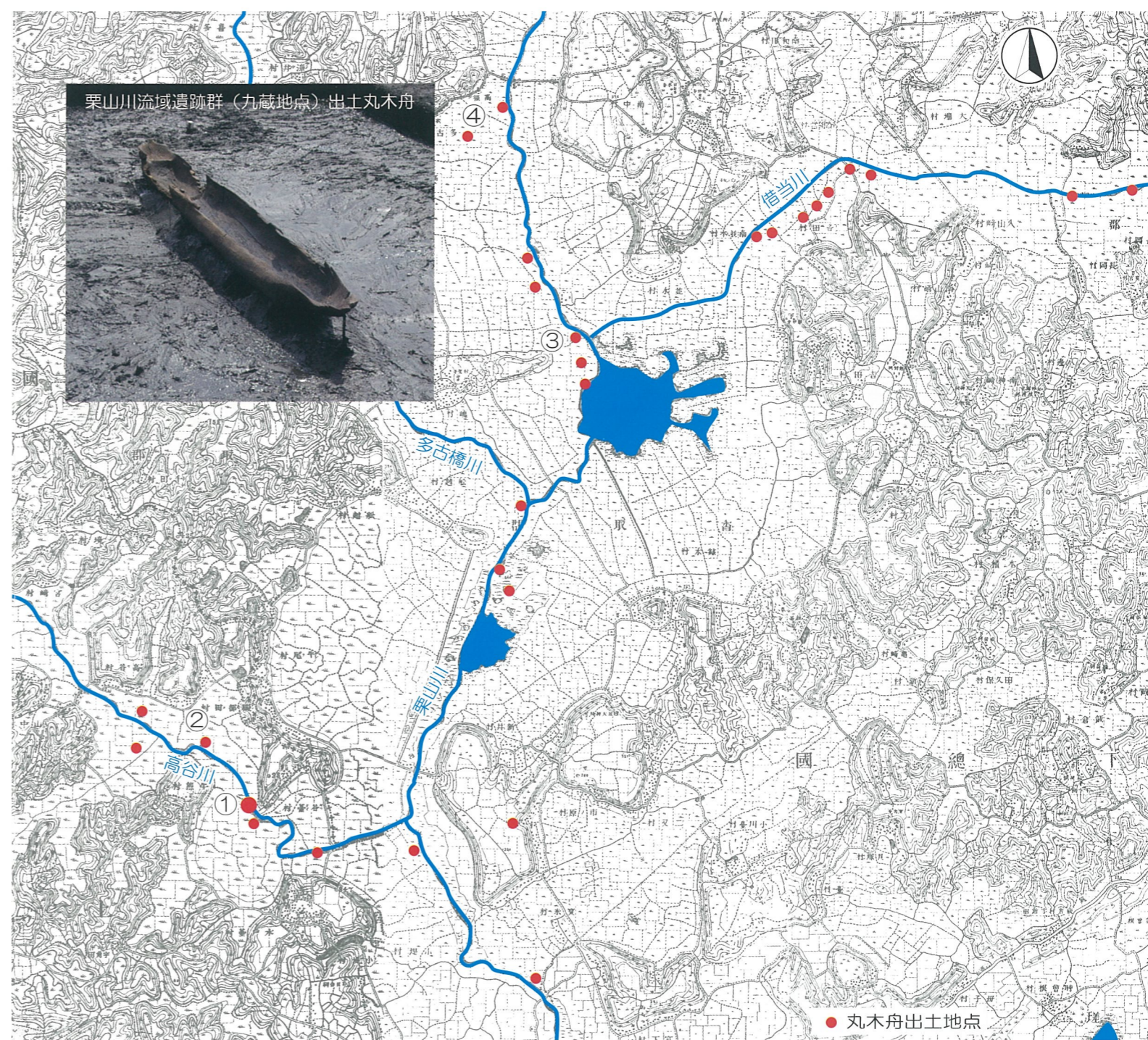
丸木舟が使われた時期は、縄文時代後期後半から晩期前半（約3,500年前～約3,000年前）のものと考えられます。

土器や木器も出土

別の本調査地点では、先端部に精巧な加工が施された「儀仗形木製品」が出土しています。舟を漕ぐための櫂の可能性もあります。また、細長い棒状の加工品や素材とみられる木器が多数出土しています。周囲から出土した土器が、縄文時代後期加曾利B式土器や晩期安行式や前浦式などであることから、木器も同じ時期のものと考えられます。



儀仗形木製品



丸木舟が見つかった周辺の遺跡

千葉県内で発見された丸木舟は128例にのぼります。そのうち、東総地区（香取市・多古町・横芝光町・旭市・匝瑳市）は約80遺跡で、最も多くの丸木舟が発見されている地域です。その中心となる栗山川とその支流である借当川・多古橋川・高谷川の流域は、一帯で「栗山川流域遺跡群」と呼ばれており、高谷川低地遺跡①もその一つです。今回の調査地点から北西約170mの鉄塔②下からも丸木舟が出土していることから、周辺にはまだまだたくさんの舟が埋もれている可能性があります。

東総地区の丸木舟のうち、最も古いものは多古町島地区③で出土した縄文時代前期末頃（約5,500年前）の丸木舟です。この舟は全長が約7.5mのムクノキ製で、完全な形で発見された点で貴重なものです。このほかにも、多古町中心地に近い九蔵地区④から全長約6.5mの丸木舟が出土しています。断面は丸味があり、丸太材をくりぬいていることがよくわかります。

千葉県の丸木舟の材質は、カヤ材が多く、ほかにはシイ・クリ・ムクノキなどが使われています。本遺跡の丸木舟については、今後、整理作業を進めるなかで明らかにしていきたいと思えます。